

通信 おぐに荘

第 27 号

令和元年 8 月 25 日

新潟県長岡市小国町新町852-4

救護施設 おぐに荘

Tel 0258-95-3400

FAX. 0258-95-3451

ホームページアドレス

<https://www.kashikari-fukushi.com>

題字：稻波恵子様

おぐに荘盆踊りを地域の皆さんと一緒に



連日わたり猛暑の中、八月十日に盆踊りが行われました。この日も日中から強い日差しが照りつけて、身体にこたえるような暑さとなりました。一方で、利用者の方々は職員の心配をよそに、元気よく最後まで踊りきってくれました。

今年もボランティアを含む地域の皆さんより、百名を超える大勢の方々からご参加いただき、祭りを盛り上げてくださいました。お囃子の音に誘われ、どんどん広がる櫓の輪。漲る力が集まっていつそうアツい小国の夜となりました。

四月十四日、地元の新町集落の春祭りに、おぐに荘からも精銳十名の利用者が参加させていただきました。

毎年恒例となるこの春祭りは、おぐに荘にとっても新年度最初の行事。わくわく感いっぱいのなかはっぴ姿に身を包み、威勢良いかけ声で神輿を担ぎ、集落を練り歩きました。一緒に掛け合つ「わっしょい、わっしょい」のかけ声は、沿道の観客方々をも巻き込んで氣勢どんどんと急上昇。地域の皆さんと味わえた一体感に、利用者も充実のひと時となりました。担いだ神輿は、数日前から利用者と職員が一緒に装飾した私たちの自信作。来年もいっそう装飾に力を入れて、春祭りに臨みたいと思います。



食のイベントで食事を楽しむ



フラダンス慰問に心癒やされる

ボランティア募集

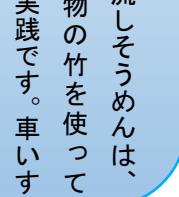
おぐに荘では、『魅力ある施設づくり』に取り組むなか、その一環として、通常の食事提供の他に、「食のイベント」と称した食事提供も進めています。五月十五日のカレー・ライス作り体験、七月二十三日の流しそうめん体験もその一つです。なかなか田舎の出来ないことも、利用者の皆さんとのリクエストに応え、少しづつたちにできるよう努めています。



体育館を調理場として、お米とぎから始めました。メンバーで協力し合って一緒に作りました。包丁使いに少し苦戦した様子もありましたが、楽しく調理出来ました。



流しそうめんは、本物の竹を使っての実践です。車いすの方も参加できるように、高さや流れるスピードも考慮しました。利用者の全員から体験していただきました。



包丁使いに少し苦戦した様子もありましたが、楽しく調理出来ました。



六月十一日、『ウイラニメアフラ』

ニメアフラ

の皆さんに

よるボラン

ティア慰問

として、フラ

ダンスをご

披露いただ

きました。



フラダンスを楽しむ利用者

素敵な衣装とフラダンスに利用者の皆さんもうつとう。美しいフラの世界に引き込まれていきました。最後は振り付けをまねての共演も。気持ち良

くフラを体感し、ゆったり踊つて疲れた心を癒すことができました。



ボランティア募集

おぐに荘ではボランティアに来てくださる方を募集しています。

例えば・・・

- 利用者さんとの話し相手
- 利用者さんの衣類の洗濯
- 草取りや掃除等の施設環境整備

- 歌や踊りの慰問活動
- ～福祉に興味のある学生さん、特技をお持ちのお父さん、お母さん、おぐに荘事務局までお気軽にお問い合わせください。（担当：佐藤・山本・穴澤）

おぐに荘ではボランティアに来てくださる方を募集しています。

例えば・・・

- 利用者さんとの話し相手
- 利用者さんの衣類の洗濯
- 草取りや掃除等の施設環境整備

【問い合わせ先】
救護施設おぐに荘

〇二五八一九五一三四〇〇



あとがき

今年度、最初の『通信おぐに』を無事、発行し皆さんへお届けできることをたいへん嬉しく思っております。このおぐに荘が、さらに地域に根差した施設となるように、今後も皆さんのお力を借りながら、いつそうの努力をして邁進していきたいと思います。あわせて、この広報紙を通じて、新たなおぐに荘を皆さんへ紹介できるよう、職員一同頑張ってまいります。今後ともよろしくお願いいたします。